

岩手山の火山活動解説資料（平成 20 年 1 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

火山性地震の回数はやや増加しましたが、噴気活動等の観測データに特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○活動概況

・地震や微動の発生状況（図 2～図 3）

火山性地震の月合計回数は、山頂東側のやや深い所を震源とする地震が多くなり計 106 回と、先月（21 回）と比べてやや増加しましたが、東北大学の傾斜計等による地殻変動観測では変化は認められていません。

火山性微動は観測されませんでした。

・噴気など表面現象の状況（図 4）

柏台（黒倉山山頂の北約 8 km）に設置してある遠望カメラでは、黒倉山山頂の噴気の高さは 100m 以下で、噴気活動は低調な状態が続いています。

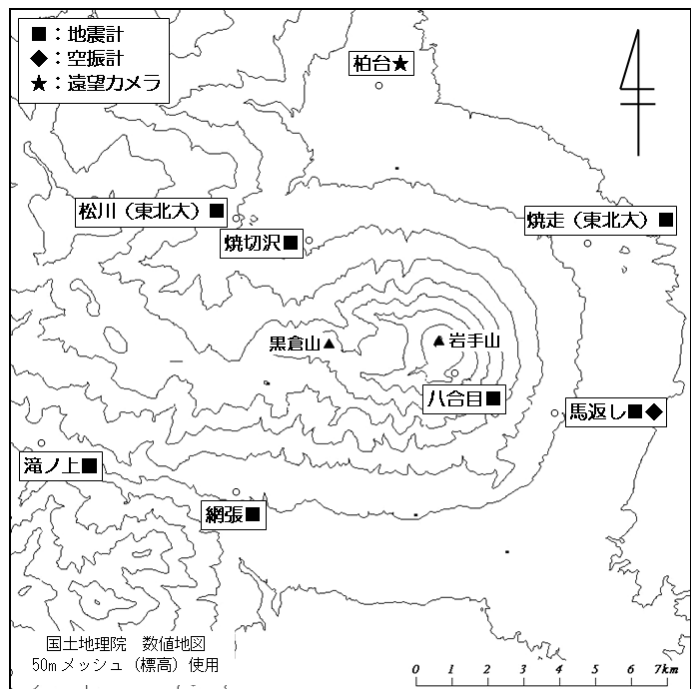


図 1 岩手山 観測点配置図

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.sendai-jma.go.jp/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 20 年 2 月分）は平成 20 年 3 月 6 日に発表する予定です。

資料は気象庁のデータその他、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 17 総使、第 503 号）。

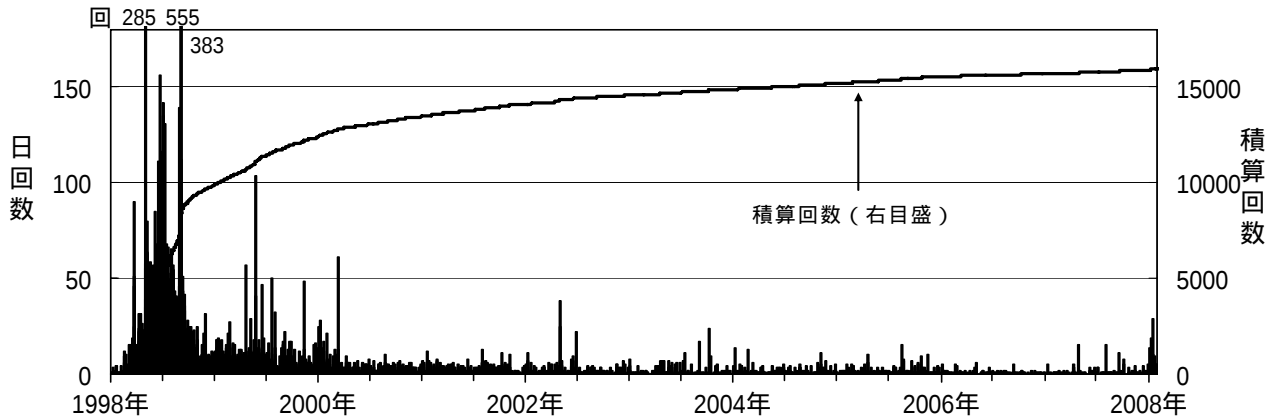


図 2 岩手山 日別地震回数（1998 年 1 月～2008 年 1 月）

注）2006 年 1 月 1 日より、地震回数の基準点を東北大学松川観測点（計数基準：振幅 $1.0 \mu\text{m/s}$ 以上で S-P 時間 2 秒以内）から気象台焼切沢観測点（計数基準：振幅 $0.5 \mu\text{m/s}$ 以上で S-P 時間 2 秒以内）に変更しました。2000 年 1 月以降は滝ノ上付近の地震など山体以外の構造性地震を除外した回数です。（1998 年から 1999 年までは滝ノ上付近の地震など山体以外の構造性地震も含む）

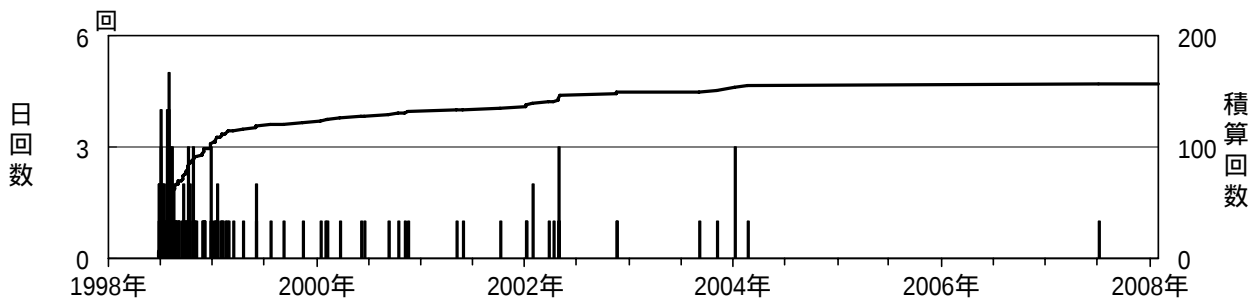


図 3 岩手山 日別微動回数（1998 年 1 月～2008 年 1 月）

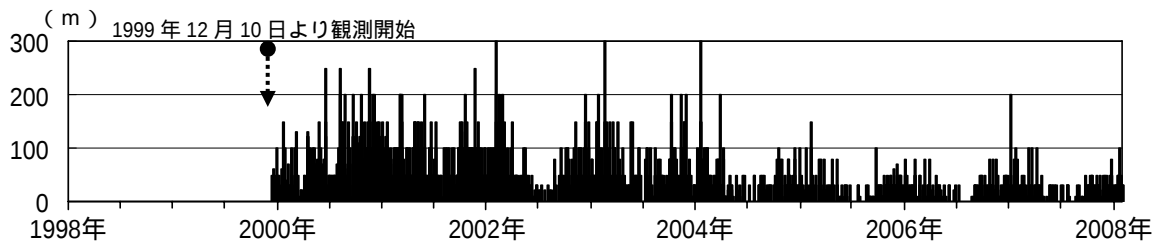


図 4 岩手山 日最大噴気の高さ（黒倉山）（1999 年 12 月 10 日～2008 年 1 月）

気象台の柏台遠望カメラは、1999 年 12 月 10 日より観測を開始しました。